



Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2019年9月30日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域自治課内
☎055-934-4717
FAX055-931-2606
<http://www.nice-numazu.org/>



カラマズー市民訪問団来沼!



カラマズー部会

2019.7.23～8.1
カラマズー市民訪問団来沼記



7月23日(火) 来沼

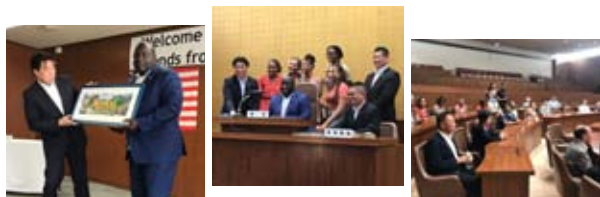
午後9時過ぎ、訪問団が金岡地区センターに到着。長いフライトお疲れさまでした。

7月24日(水)

午前中、文化センターにて日本文化体験。日本舞踊とつまみ細工を体験。



午後は市役所にて市長、議長表敬訪問。議場も見学しました。



夜はホテルで歓迎会です。和やかで、華やかな雰囲気にもまれて、楽しいひと時を過ごしました。



7月25日(木)

この日は戸田に行きました。生徒さんの案内で戸田を見学しました。1学年十数名の中学校ですが、生徒さんの素晴らしい合唱とソーラン節のダンスに皆さん感動しました。最後に柿田川公園に立ち寄りしました。



7月26日(金)

今日は憧れの富士山へ。5合目付近の散策を楽しみました。富士宮の富士山世界遺産センターも見学しました。



7月27日(土)・7月28日(日)

ホストファミリーデーをそれぞれ楽しみました。日曜の夜は花火大会に行きました。カラマズーの花火とは違うと喜ばれました。



7月29日(月)

箱根へのバス旅行。途中スカイウォークに。ちょっと怖い人もいたみたいです。芦ノ湖では船に乗りました。彫刻の森美術館の庭で散策を楽しみました。



7月30日(火)

今日はびゅうおの見学です。水門の大きさにびっくり。その後御用邸に移動。



邸内を見た後は葛城山で伊豆の山々や駿河湾の風景を楽しみました。最後は反射炉に。



7月31日(水)

地元の企業を訪問です。沼津と言えば干物「羽野シーフーズ」容器リサイクルの「エフピコ」を訪問。



消防本部も見学しました。大きなはしご車の前で記念撮影です。



夜はサンウェルぬまづにてお別れ会です。名残を惜しみつつ歓談しました。また来沼中にエリックさんがアシュリーさんにプロポーズして、婚約が発表されるサプライズがありました。



8月1日(木)

お別れの朝です。ホストファミリーと抱き合っ
て別れを惜しみました。議員の方々から沢山の
コミック本のプレゼントがありました。

歓迎会で琴の演奏をしてくれた西高校の箏曲部の皆さん、送別会でブラスバンド演奏をしてくれた御殿場南高校の皆さん、ありがとうございました。

毎日お世話していただいた市のスタッフの方々、ボランティアの皆さんありがとうございました。

ふれあい部会

7月21日(日)14時から16時まで、第二地区センターにおいて、国際交流サロン「石川啄木とロシア」～トルストイとソニヤをめぐる～の講演会が、日本大学国際関係学部教養学科教授の安元隆子氏をお招きして開催されました。



安元氏は石川啄木、室生犀星を中心とした日本近代文学研究や、日露交流を描いた文学などを研究され、著書「石川啄木とロシア」では2006年に国際表現学会賞を受賞されています。

また、沼津市とはご縁があり、2018年に開催された、沼津市主催の日露友好シンポジウムでは、コーディネーターとしてご登壇いただいています。

今回の講演では、夭折した詩人石川啄木がどのようにロシアと関わっていたのか、ロシアの文豪トルストイとの共通点、ソニヤという名の2人の女性への興味はなぜかなどを中心に講義されていました。

石川啄木は、ふるさとや生活についての短歌が有名ですが、実は社会の動きを冷静に捉え、日露戦争前後の日本を憂いた評論を執筆していたことはあまり知られていません。ロシアの文豪トルストイもまた有名な小説家でありながら、「ロンドンタイムス」に「日露戦争論 汝悔い改めよ」を発表しています。両者共、戦争に強い憤りを感じているのが伝わりました。



当日は選挙と重なり、参加者の数が心配でしたが、30名の方が参加して下さいました。話の内容が専門的で少し難しいと思われましたが、皆さん興味深く熱心に聞いている様子でした。参加者の皆さん、スタッフの皆さん、ご協力ありがとうございました。

岳陽部会

中国語講座を受講して

受講生 山本 真嗣

今回、岳陽部会による中国語講座入門クラス(全22回)に5月15日(水)から参加させていただいております。近年の国際情勢をみてみますと、かつては断トツでアメリカ合衆国が第一主要国であったことに若干の翳りがあらわれていると感じることがあります。それは中国の台頭があるのではないかと私は考えています。

以前より中華料理や中国の歴史・文化に興味はあったものの、中国語だけは学習したことはありませんでした。そこで今回、沼津国際交流協会(NICE)で中国語講座が開催されていることを知り、受講させていただくに至りました。



入門クラスの東先生はとても理解しやすく、いつも丁寧に説明してくださるため、初心者の私達にとって大変ありがたいです。基本的な発音、発声を何度も繰り返していただけるため、頭の中に残りやすいです。また、大きく元気な声でご指導されることも魅力のひとつです。気が付くといつの間にかこちらにも元気になっています。授業の合間に中国文化などの「中国あるある」のお話をされることも楽しいです。

この講座を受講して、大変よかったです。ひとつでも多くのことを学び、最後まで学習を続けていこうと思います。

“女性と女性の生活を支援・女性の人権を守る”
これらを目指して国内外で奉仕活動をしています。
国際ソロフチミスト駿河 会長 加藤 啓子

国際理解教育部会

7月13日(土)大手町会館でミングリングパーティーを開催しました。講師の先生をお招きし、最初に筆の持ち方など、書道の初歩を教えてくださいました。画仙紙はがきに筆で思い思いの文字を書き、作品をうちわに貼って自分だけのうちわを作りました。講師の先生は一人ひとり丁寧に手を取って指導してくださいました。



参加者は「筆は初めてで難しい」と言いながら何度も練習をして、それぞれ

立派な作品を仕上げていました。講師の先生からは「個性的な作品が多く楽しかった、これを機に書に親んでもらえたらうれしい」というお話を頂きました。



日本の文化を体験することにより書に親んでもらい、また「令和」の文字から、日本の元号についても知識を持ってもらうことも出来ました。



会員増強運動実施中！！

沼津商工会議所

TEL 055-921-1000 FAX 055-921-1105